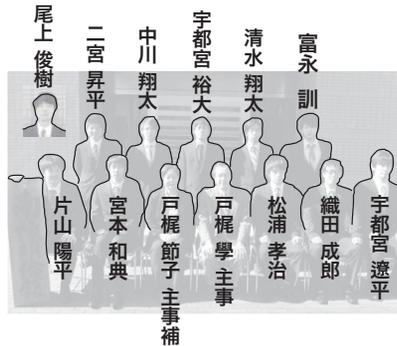




平成25年3月、南豫明倫館の11人が4年間の節目を迎え旅立った。進路は人それぞれ、思いもそれぞれだろう。だが、人生は一回限り。悔いのない人生を歩んでほしい。卒業生の心意気やいかに。2月17日には壮行会を開き、南豫奨学会理事や後輩たちがこぞって、先輩の門出を祝った。



11人、期待にこたえ飛躍を!! 25年3月 企業や大学院に旅立ち

卒業生の言葉



二宮 昇平 (東京理科大学・理学部、八幡浜)

伊予銀行

1 一日でも早く一人前の銀行員になりたいです。そのためにも、初心を忘れず、常に向上心を持って仕事に取り組みます。

2 四年間の大学生活はとても貴重な時間です。やりたいことがあるなら、今すぐ行動しましょう。一人で無理なら寮で仲間を募れば良いのです。後悔のない大学生活を。

宮本 和典 (東京農工大学・工学部、西予市)

東京農工大学大学院 工学府

1 私は大学院に進学して、引き続き移動ロボットの研究に取り組むことになっています。将来は今の研究で得たものを活かせる職に就きたいと考えています。

2 大学生活の四年間はすぐに終わってしまいます。やるべきことはしなければいけません。自分がやりたいことにも手を伸ばしてみましよう。存分に欲張ってください。

中川 翔太 (東海大学・工学部、宇和島市)

株式会社マイナビ

1 しっかりと生きる。

2 何事にもチャレンジをして下さい!!

織田 成郎 (東洋大学・経済学部、宇和島市)

愛媛県警

1 まだスタートラインに立ったばかりなので、まずは一人前の警察官になれるように頑張ります。将来は南豫明倫館の四年間の経験を生かし警察官として社会や南豫明倫館に還元出来る人間になりたいです。

2 学生だからこそ、南豫明倫館だからこそ、東京だからこそ、出来ることたくさんあります。今しか出来ないことを存分に楽しんで充実した学生生活を送ってください。

片山 陽平 (工学院大学・エンジニアリング学部、宇和島市)

YKK AP株式会社

1 海外を舞台に日本の優れた技術力を現地の人に指導できる人材になります。その土地で暮らす人々の幸福に責任を持つプロになり、より快

2 適な住空間を創造したいです。深夜の屋上で花火をするのはやめたほうがいいです(笑)。

富永 訓 (東京経済大学・経営学部、宇和島市)

伊予銀行

1 立派な社会人になれるように日々精進する。

尾上 俊樹 (東京大学・工学部、宇和島市)

東京大学大学院

1 自分は大学院に進学するため、また南豫明倫館のお世話になりますが、院を卒業後は早く技術者として一人前となり、地元や明倫館への恩を返したいと思えます。

2 寮での飲酒禁止など多くの迷惑をかけてしまいました。今後は自分達から、寮生全体での新たな楽しみをつくり出して下さい。

松浦 孝治 (法政大学・法学部、宇和島市)

未定

1 公務員試験の勉強のため、もう暫く寮にお世話になることになりました。南豫明倫館に早く恩返しできるようにがんばります。

2 アンテナを幅広く張れば、時間のある大学生活が有意義なものになると思います。

宇都宮 遼平 (明治大学・法学部、鬼北町)

早稲田大学大学院 法学研究科

1 将来は博士後期課程まで進み、民事手続法の研究者(大学教授)になり、わが国の民事訴訟手続きを中心とした紛争解決手続きを、研究者の立場からよりよくしていきたいです。

2 自分に劣等感を与えてくれる友達を、大事にしてください。そしてその友達と、切磋琢磨していきましょう。今年も南豫明倫館に残ることになりましたので、宜しくお願ひします。

清水 翔太 (東京大学・工学部)

東京大学大学院 情報理工学系研究科

1 今後は、膨大な情報システムや、情報そのものを効率よくマネジメントする技術を研究するだけでなく、情報技術の激しい変化に柔軟に対応できるような能力も身につけていきたい。

2 生き残るのが厳しい時代だからこそ、自分を守る必要があります。それは他の人も同じです。従って、他人の価値観に対して寛大であってほしいと思います。また、私もそうありたいと思います。

宇都宮 裕大 (日本大学・経済学部、八幡浜市)

留年

全体感を持った人間に

自治委員長 山本 祐大
明治大学法学部

今期、自治委員長を務めさせていただく山本祐大です。歴史と伝統のある南豫明倫館の委員長となり、責任感と使命感と誇りを持って日々奮闘しています。

私は委員長として寮生全員を日本に必要な真金の如く屈強な「人財」にしようと思っています。私の考えるところの社会に必要な「人財」とは、視野が広く、全体感と思いやりを持った人間です。一人暮らしではなく、寮生活という共同生活である以上、どうしても他人に気を使わなければならない場面も日常の中に多々あります。殊に一年生は上級生に気を遣い、何かと苦労することも頻繁にあるかもしれません。何故、こんなことをせねばならないのか。そう思う日も間違いなく来るでしょう。

そんな時に思い出して欲しいのは何故愛媛から東京に出てきたのかということ。それはひとえに「成長」したいからではないでしょうか。上京した理由は皆違いますが。花の都・大東京で勝負したい、変わりたい、昔から憧れていた……。多岐に渡るでしょう。しかし、「成長」したいというベクトルは共通していると思います。そして明倫館はそのための最適なフィールドです。一・二年時には下っ端根性が鍛えられ、他者に貢献できる自分になります。三・四年時には組織の運営を通じて、人の上に立つ難しさや楽しさを知ることが出来ます。そして一皮も二皮も剥けた人間になります。寮生の多数は部活動やサークル活動に従事しています。皆が活動を始めたきっかけは元々好きだった、興味があったからでしょう。一方、寮の活動にはあまり楽しめないものもあるかもしれません。気が乗らないこともあるでしょう。しかし、社会に出ていくうえで大切なことは嫌なことを好きになることではないでしょうか。社会に出ると山ほど困難が襲ってきます。その困難を乗り越えるためには、嫌なことを好きになる力が必要です。その力を明倫館では養えます。全体の中の自分の役割を知れます。何よりも誰かのために頑張ることの素晴らしさが分かります。こんなに成長できる環境は他にはないでしょう。

明倫館の教えが正しいことは諸先輩方が社会で実証してくれています。その伝統を継承する義務が我々寮生にはあります。小さなことからコツコツと。先ずは、人間としての基本であるあいさつから厳しさと愛を持って指導していきます。これにて終わります。御精読ありがとうございます。

平成25年度 上期自治委員会

委員長	山本 祐大
副委員長	河野 寛
"	谷 貴人
整備(東)	坂本 裕
" (西)	宇都宮 和彦
風紀	宇都宮 賢吾
広報	田中 悠悟
企画	渡邊 圭
情報	堀尾 祥汰
サロン	竹葉 大貴
会計	山本 晃弘

明倫館チームが快挙! 小金井市の駅伝大会で3位

「第9回野川駅伝大会」(小金井市・小金井市教委など主催)が1月20日、同市の都立武蔵野公園で開催され、南豫明倫館チームが一般の部(高校生以上)で初出場ながら見事3位に入った。市内の30チームが参加、高校生や消防関係チームに次ぐ成績だった。

コースは1人約3,000mで、1チーム6人編成。参加したのは片山陽平(4年)、上田雄喜(3年)、大谷庸平(OB)、二宮義朗(OB)、松浦孝治(4年)、二宮昇平(4年)の6選手。1区は4位で通過したものの2、3、4区で3位を維持。5区で2位に上がったが、6区で残念ながら3位に終わった。終始トップを走った高校生チームとは2分21秒差、2位とは50秒差だった。

個人記録では、上田選手が1位の高校生と35秒差で、全体の5位に入る健闘を見せた。



平成25年度主要行事予定

平成25年	
4月 1日(日)	新入寮生7人が入寮
14日(日)	花見・バーベキュー
21日(日)	第1回常務理事会・新入寮生歓迎会
5月11日(土)	第2回常務理事会
6月 8日(土)	第1回定例理事会(南豫明倫館)
22日(土)	定例評議員会(南豫明倫館)
8月 5日(月)	夏季休暇開始
17日(土)	夏季休暇終了
9月 7日(土)	第3回常務理事会
10月12日(土)	寮生保護者懇談会(宇和島) 入寮説明会(宇和島) 南豫明倫館開設60周年記念式典(宇和島自動車館)
11月 9日(土)	第4回常務理事会
16日(土)	南豫明倫館開設60周年記念式典(ホテルニューオータニ)
23日(土)	第5回常務理事会・寮祭(勤労感謝の日)
12月 3日(火) ~ 6日(金)	南予高校での入寮説明会
14日(土)	第6回常務理事会(忘年会)
24日(火)	冬季休暇開始

平成26年	
1月 4日(土)	冬季休暇終了
18日(土)	第2回定例理事会(南豫明倫館)
2月16日(日)	第7回常務理事会・卒業生壮行会
3月15日(土)	第8回常務理事会・ 第1次新入寮生書類選考(東京) 第1次新入寮生面接選考(宇和島)
21日(金)	平成26年度生入寮開始
下旬~4月	第2次新入寮生選考(随時、南豫明倫館)

野川駅伝に参加して

上田 雄喜



今回の駅伝大会への出場のきっかけは、電柱に張られてある広告を見ての思いつきだった。その広告を見たときに「この大会に出て優勝することで寮が元気になる、先輩との思い出も作ることが出来る」と感じたからであった。それから大会までの二カ月間は、毎晩のようにみんなでランニングを行った。ランニングを終えて、みんなで寮の風呂に入るときはどきどき持ちがいものなかつたと感じている。

そのようなトレーニングを続け、迎えた本番は、みんな緊張していた。私は2区を走り、沿道からの応援が力になり全力で走ることが出来た。しかし、走っているときは、これが先輩方と出場できるイベントは最後になってしまおうのかと感じ、一緒に過ごした三年間の思い出が走馬灯のように思い出され、さびしさを感じていた。

チームは3位という結果で終わることが出来、目標を達成することが出来た。ゴールをみんなで迎え入れ、みんな喜び合ったときは本当に出場して良かったと感じた。来年もメンバーを集め、今年以上の結果が残せるように努力し、頑張りたいと思っている。

元氣な新入寮生が入り、今年度がスタートした。私も明倫館で過ごすのは、あと一年間となった。四年生として、先輩の模範となるように心がけ、伝統を受け継ぎ、新しい風を吹き込んでいけるように日々、精進していこうと思っている。

今月の言葉

季下の冠、瓜田の履

略して「瓜田季下」ともいう。

解説

季(すもも)の木の下で帽子に手を添えると季泥棒と疑われ、瓜畑(うりばた)で靴に触れると瓜盗人(うりぬすびと)にされる。世の中は、誤解を受けるようなことを絶対しないのが、上手な生き方だ。

いつか某大臣が、会議途中でトイレに行き、帰りにコーヒーを飲んだ。ところが、世間では、勝手に中座したと貶(けな)され、大臣まで辞めざるをえなくなった。誤解だと叫んでも、誤解される行為をした報いだから仕方がない。

とくに金銭面では、これが最善の世渡り方法だ。わずか一円だからといって、そこから見る見る誤解が大きくなる。それが世間というものだ。仮に世間が許しても、天は軽蔑するだろう。生涯自分を苦しめることになる。

(二〇一三・三・二七)

南豫明倫館館長 木下博民



編集後記

▼例年より早い桜前線の北上とともに、今年は十一人が学生生活に一区切りをつけました。社会に飛び出し企業の一員になった者、大学院に残り学究生活を送る者などさまざまです。諸君にはこれからいろいろな試練が待ち受けています。決して順風満帆だけの人生航路ではないでしょう。嵐に遭ったり、暗礁が待ち受けていたりするかもしれません。

▼隘路に遭遇したときは、一人で悩まず誰かに相談してください。少しだけ、少しだけ見方を変えれば、新たな展開が始まるかもしれません。方向転換は逃げではありません。

▼卒業生は住所が変わったら、必ず南豫明倫館まで知らせてください。「卒業したんだから後は関係ない」ではあまりにもさびしくはないですか。諸君には先輩の面倒を見る「義務」があります。「明倫館との縁を切らない」これが明倫館魂です。(戸梶)

平成25年度支援会募金状況

(平成25年5月9日現在)

	募金数	募金額(円)
理事・監事	7人	246,000
評議員・審議員	9人	180,000
OB	13人	160,000
現保護者	0人	0
一般	23人	300,000
法人	0社	0
市町村	0市	0
合計	52(人・社・市)	886,000

*一般には元保護者を含みます。

公益財団法人 南豫奨学会
「奨学金支援会」だより